

みき通信

日本共産党 町議会議員
くぼたみき 活動報告

第66号 2017年1月30日



発行 がんばれ くぼたみきの会

連絡先 875-7126 (阿部)

町は高齢者支援に本腰を

1月21日(土)葉桜で、くぼたみき議員の議会報告会が行われました。一般質問で取り上げた「学校給食の対応」「子どもの貧困と就学支援」「高齢者福祉」など報告がありましたが、会場の話題の中心は、介護保険制度から外された要支援1・2の人への対応についてなど、高齢者福祉の問題でした。

要支援1・2に認定されている人は、町の総合事業に移行し、これまでと同様のサービスが受けられるという町の回答ですが、経費の減額が予想され、サービス低下、利用料の値上げにいずれつながる 必要な人に新規の認定がされるのかどうか、認定されても予想される介護料の減額が事業所の経営を圧迫し事業からの撤退など、サービスそのものが受けられなくなる可能性がある 町は要支援者への対応を、町内会など民間中心で考えている。などの問題が見えてきました。

高齢化は年々深刻化するのですから、介護予防のために早い段階から手厚い支援サービスが必要です。にもかかわらず国は社会保障費を年々削り、私たちの命と暮らしを脅かしています。高齢者が増えお金が足りないというのは口実で、国民から搾り取れるだけ搾り取り、大企業には大減税で優遇する「アベ政治」が誤っているのです。

住民の命と暮らしを守るために地方自治体は国に異議を唱えるとともに、独自の政策で住民を支えることが必要です。高齢者を支えるしくみ、総合事業に町がどう取り組むかが問われています。

今は若々しく、はつらつと過ごしている人も、どんな世代もいずれ老いを迎えるのですから、一人ひとりがもっと関心を持って、町や議会をそして国を動かしていかなければ！

議会報告会は、上山口、葉桜の2か所で交互に行っています。次回は4月上山口です。

更に町民の声を届け、議会活動に繋がります

町議会議員 くぼた みき

新年を迎えたばかりと思ってるうちに、あっという間に2月を迎えます。時の流れは今も昔も変わらないはずなのに、自分が小学生の時の時間よりとても早く感じています。年4回発行している「新はやま」や、毎月のように発行している「みき通信」も66号となり、「読んでいますよ」とか「今月号は分かりやすかった」など、直接お声を頂くことも増えました。とても励みになります。もちろんキツイお声もありますが有難い限りです。

私が取り上げた「高齢者の交通問題」で「バス料金補助策はどうか」とお手紙を頂いたり「葉山中学校保護者駐車場が学校給食センターの建設予定地とされている。斜面地であり危険ではないか」とお電話も頂きました。

個人で行う議会報告会は厳しいご意見も多く、どう説明し伝えたらよいのかとても勉強になります。町民の方が色々と思っても、直接町に話す方はそれほど多くないのが現状です。ですから議員がみなさんの声を届けるのが大事です。高齢者福祉の問題では「解決しないうちに死んじゃうよ」という声もありました。頂いたご意見や疑問を町に届け、暮らし続けたい葉山に結び付けられるよう、取り組んでいきます。

地域密着特養ホーム開所が延期

28年6月に、県から約1億4千万円、町から約7千3百万円の補助金の補正予算が組まれた「地域密着型サービス 特別養護老人ホーム」ですが、当初は29年3月末にはオープンを目指していましたが、28年12月に事業者から町に対し「オリンピック開催等の影響による建築費の高騰で施設建築の入札が流れ、予定通りの開所が出来なくなった」と通知があった、という事です。町は「建設は、入札が終わっていないので予定が立たず、いつ開所とは明言できない」と答弁しており、予算も未執行です。多くの町民の方が待ち望んでいる地域密着型特養です。早期開所を目指すことと、待機者への手だても必要です。